

●アフガニスタンの子どもたちへ支援を！



8月30日ユニセフ定例記者会見で、アフガニスタンにおける子どもたちの状況をアフガニスタン事務所代表のエルヴェ・ルドヴィック・ド・リス(Hervé Ludovic De Lys)が発言した内容の一部を紹介します。

子どもの権利の侵害行為が行われる

本日も、子どもたちに関して懸念すべき報告を耳にしました。全国各地におとなの同伴者のいない子どもたちがいること、子どもたちが武装勢力に徴兵されていることを含む子どもの権利の重大な侵害行為が行われていることなどです。紛争と治安の悪化を背景に、子どもたちは干ばつによって水不足になった地域で生活しています。感染すると一生残る麻痺を引き起こすこともあるポリオなどの病気に対して、命を守る予防接種を受けられない子どもたちがいます。多くの子どもたちは重度の栄養不良で、病院のベッドに横たわり、差し出した手をつかむこともできないほど弱っています。こうした子どもたちは、健康を守られた子ども時代を過ごす権利を奪われています。ユニセフは、全国5カ所の地域にある現場事務所と、コミュニティの長老たちや女性グループから、パキスタンから物資を運ぶ輸送会社まで様々なパートナーとのネットワークを駆使して活動しています。そして、科学技術を積極的に取り入れています。ユニセフ・アフガニスタン事務所では、地域社会が必要としているものを想像して提供するのではなく、無料のテキストメッセージサービスであるU-Report(ユー・レポート)を利用し、必要としているものを尋ねています。

先週の木曜日、1万5,000人の女の子を含む10万人以上の人々が、最も必要としていることは現金給付支援だと伝えてくれました。これは、ユニセフ・アフガニスタン事務所が取り組んでいる対応のひとつです。現金があれば、人々は自分の尊厳を守りながら、最も必要としているものを選ぶことができます。冬を目前にして、母親は子どもたちのために暖かいコートが必要としているかもしれません。家族は基本的な食料品や暖房用の木炭を買うかもしれませんし、女の子たちは教科書をもっと必要としているかもしれません。

しかし一方で、ユニセフだけでなく他の援助機関に対するものも含めて、国際的なドナーがこの国への支援を削減または一時停止するというニュースが流れていることを懸念しています。



© UNICEF/UN0509159/Bidel

ヘラート市にある国内避難民の非公式居住区に滞在する子ども。(2021年8月29日撮影)

現金給付支援が最も必要

そこでユニセフは以下のような拡大計画に優先的に取り組むため、すべてのパートナーに協力を呼び掛けています。

- ・移動中の家族や遠隔地に住む人々が医療ケアを受けられるようにするため、移動式診療所を提供する。
- ・ポリオやその他の予防可能な病気に対する乳幼児へのワクチン接種、また人々への新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ワクチン接種を行う。
- ・重度の急性栄養不良に陥っている子どもたちの治療をする。
- ・子どもたちには通学準備、学校には子どもたちを受け入れる準備ができるよう支援する。これまで学校がなかった地域で、コミュニティの学習クラスを通じて、30万人の子どもたちに、教育を提供することが私たちの目標。

最後に先週の出来事は、最も弱い立場にある子どもたちを保護することの必要性を高めました。先週の空港では絶望した家族が息子や娘を空港を囲む壁の上に持ち上げたり、子どもたちが人混みの中で迷子になり困惑していたり、様々な光景を目にしました。

これらを目の当たりにしたユニセフ・アフガニスタン事務所は、直ちに安全対策チームと子ども保護チームを空港に派遣しました。彼らは夜通し、避難の混乱と絶望の中で家族と離ればなれになったり、見捨てられたりした子どもたちのケアをしました。そして土曜日にはその子どもたちを家族と再会させました。それはユニセフが言う「子どもをだれひとり置き去りにしない」という言葉の意味を現実的にそして強力に示すものでした。-日本ユニセフ協会Hbより-

ユニセフ[人道危機]緊急募金にご協力を！

*紛争や武力衝突、感染症などに苦しむアフガニスタンを
含む子どもたちとその家族へ支援を届けます。

募金窓口：郵便局(ゆうちょ銀行)
振替口座：00190-5-31000
口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会。
*通信欄に「人道危機」と明記願います。

●新型コロナウイルスワクチンの接種も進み始めたことから、感染防止対策をおこないながら活動領域を広げようと計画・準備しましたが、感染力の強いデルタ株の県内感染拡大に伴い、やむなく中止せざるをえない企画もあり、今夏はパネル展中心の活動となりました。

●各地でユニセフパネル展を開催しました！

○山口県庁1階ロビーでパネル展を開催しました。

- ・開催日：7月5日（月）～7月20日（火）
- ・展示内容：「ユニセフってなあに？」

パネルに合わせて配備した「ユニセフ基礎リーフレット」（世界の子どもの現状とユニセフの活動をコンパクトにまとめた冊子）は全てなくなり、県職員の皆さんや来庁者の方に関心を持って見ていただいたパネル展となりました。



○光市あいぱーくでパネル展を開催しました。

- ・開催日：7月6日（火）～ 7月27日（火）
- ・展示内容：「ユニセフってなあに？」



「光市あいぱーく」は健康、子ども・高齢者福祉等の行政窓口が集まっているため、来庁者も比較的多く、常設の展示場所を提供していただいたため、多くの方にご覧いただけました。



○宇部市立図書館でパネル展を開催しました。

- ・開催日：7月21日（水）～ 7月29日（木）
- ・展示内容：「ユニセフってなあに？」・「アグネス大使のシリア周辺国訪問」



県協会設立来、毎年開催している宇部市図書館でのパネル展。

今年はユニセフ活動を10枚のパネルでわかりやすく紹介した「ユニセフってなあに？」に加え、ユニセフアジア親善大使を務めるアグネス・チャン氏が、シリア内戦により周辺国に難民として避難している子どもたちの様子を伝える「アグネス大使のシリア周辺国訪問」のパネル展示をおこないました。

夏休みということもあり、多くの子どもたちも観にきてくれました。

○阿武町町民センターでパネル展を開催しました。

- ・開催日：8月5日（木）～ 8月12日（木）
- ・展示内容：「ユニセフってなあに？」



県協会設立以来、パネル展を各地で開催してきましたが、今年度はこれまで未開催だった市町での開催を優先しようとの方針に沿って、地域事務局・地域ボランティアの皆さんが、開催場所確保の交渉に当たっています。阿武町での開催も今回が初めてとなりますが、交渉の過程で副町長さんともお話でき、ユニセフ活動にご理解いただくとともに、次年度以降も開催いただけることとなりました。



○萩市総合福祉センターでパネル展を開催しました。

- ・開催日：8月5日（木）～ 8月12日（木）
- ・展示内容：「ユニセフってなあに？」

阿武町での開催と同様、地域事務局・地域ボランティアの皆さんの交渉・調整で、萩市でも初めてパネル展を開催することができました。次年度以降も開催を継続していきたいと考えています。



●「風をつかまえた少年」上映会、残念ながら延期させていただきました。

○県内コロナウイルス感染の急激な拡大に伴い、大事をとって延期の判断をおこないました。

- ・コロナウイルス感染防止の観点から300名収容会場を定員80名として案内したところ、ほぼ定員となる多くの方から参加のお申込みをいただき、上映会準備を進めていました。
- ・しかし、上映予定日前日の8月18日に発表されたコロナウイルス県内新規感染者数が初めて100名を超え、急激な感染拡大が懸念される事態となったことから、急遽延期の判断をおこないました。
- ・このため、ご参加を予定されていた方への中止のご連絡が上映会当日となり、大変ご迷惑をおかけしました。
- ・延期の上映会スケジュールは未定ですが、決定しましたら当誌「ユニセフ通信」・Hp等でご案内いたしますので、ご参加をお願いします。



●「ユニセフパネル展」を開催してみませんか？！

山口県ユニセフ協会では、**ユニセフ**のこと、**世界の子どものこと**、を知っていただきたい。そしてそのことを通じて**平和やしあわせ**を考えていただきたいと、**パネル展**を積極的に開催しています。

展示場所さえお貸しいただければ、設営等はボランティアスタッフがおこないます。

■ご連絡・お申込みは、4ページに記載の電話またはメールにてお願いします。

●パネル・視聴覚ツール



- *パネルはスペースやテーマに応じて、複数ご用意できます。
- *視聴覚ツールとしてDVDも各種ありますので、お申し出いただければ貸し出しもおこないます。

●その他ツール



- *マラリアを媒介する蚊を防ぐためにユニセフが提供している蚊帳や、ネパールで衛生的な水の確保のために使われている水瓶（児童労働にもつながる）などの現品も貸し出しできます。

- 今春開催し好評だった「ラブ・ウォーク」を秋にも開催します。また恒例企画となった「ユニセフクリスマス会」も予定しています。
- ともに楽しい企画です。皆様のご参加をお待ちしています。

●秋のユニセフ「ラブ・ウォークinときわ公園」開催予定



●みんなで楽しく歩いて、参加費の一部をユニセフに寄付するイベントです！

開催日時： 11月6日(土)11時～14時 (小雨実施 中止の場合は前日に連絡)

会場： 宇部市ときわ公園

内容： ときわ湖周回コースでのウォーキング(1周5.7キロをゆっくりと)
昼食はココランドホテルの美味しいお弁当

参加費： お一人につき1,000円(大人・子ども同額)
*参加料には「お弁当」と「お茶」代金を含みます
*参加料のうち、200円をユニセフへ募金させていただきます

募集人数： 30名(定員になり次第締め切り)

集合： 10時50分 ときわ公園北側のスポーツ広場管理棟前(ココランドの一番下の駐車場も利用可)

お申込み： 下記「山口県ユニセフ協会」へ電話でお申し込みください。(受付曜日・受付時間にご注意ください)



*今年春開催のラブ・ウォークの様子

●「親子でクリスマス・リースを作ろう！」開催予定(今年は宇部で)



●親子でクリスマスリースを作る楽しいイベントです(ちょっとだけユニセフのことも知ろう)！

開催日時： 12月11日(土) 13:30～15:00

会場： 宇部市コープここと宇部店横組員集会所「あい愛館」

内容： オリジナルオーナメントとリース台でクリスマスリースを作ります。
映像で世界の子どものこと・ユニセフの活動を学習します。
*クリスマスリースの材料および工具は事務局がすべて用意します。

参加費： 1名につき300円
*材料代は含まれます。
*お子さんの参加は何名でも可(ただしリース材料は原則1セット)
*参加料はユニセフへ募金させていただきます。

募集人数： 親子10組(定員になり次第締め切り)

お申込み： 下記「山口県ユニセフ協会」へ電話でお申し込みください。(受付曜日・受付時間にご注意ください)



*昨年開催のユニセフ親子クリスマス会の様子

●賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。
現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。
山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

*賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。

山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原210番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp
URL: <https://www.unicef-yamaguchi.jp>



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。
また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
受付日： 月・火・水・木・金
受付時間： 10:00～16:00
山口県教育会館の裏になります。